

横芝町の人口と世帯

< 7 月 31 日現在 >

| | |
|-----|--------------|
| 人 口 | 12,627 (+31) |
| 男 | 6,067 (+16) |
| 女 | 6,560 (+15) |
| 世帯数 | 3,070 (+ 8) |

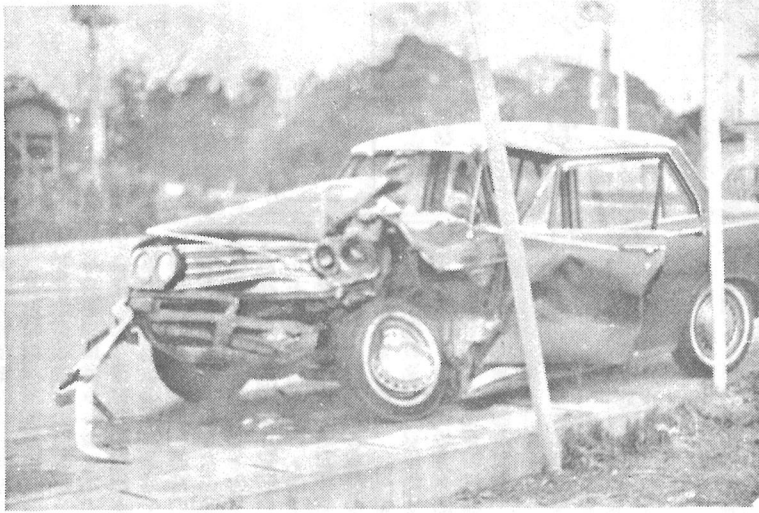
() 内は前月比



広報

横芝

発行所
山武郡横芝町横芝 6 3 6 番地
横芝町役場
電話 04798-2-1111(代)
郵便番号 289-17



今日も又、このような悲惨な事故が……

秋の交通安全運動

歩行者事故、絶滅へ

九月二十二日から実施

人命尊重が、何よりも優先されなければならない今日、交通事故による被害は激増の一途をたどっています。この悲しい現状を少しでも減らすため、今年も九月二十二日から十月一日までの十日間、秋の全国交通安全運動が行なわれます。この運動は、歩行者運転者、運転者の雇主その他

陸上交通に関係のあるすべての者に、交通安全思想の周知徹底をはかり、正しい交通ルールの実践を習慣づけ、事故防止の徹底をはかることを目的としています。

最近の成東警察署管内の交通事故の原因を見ますと、運転車側に責任のあるものでは、交差点の除行違反が多く、ついで右折違反、車間距離の保持、飲酒運転等の順になっています。また、歩行者側の責任のあるものでは、道路への急な飛び出し、幼児のひとり歩き、車の直前直後の横断などがあります。交通安全教育は家庭からと云われるように、家庭でよく話し合い、お互いに交通安全ルールを守り、事故の絶滅に努めましょう。

成東警察署管内事故発生状況

47年1月1日～7月末日現在

| | 発 生 | 死 者 | 傷 者 |
|-----|--------------|------------|--------------|
| 管 内 | (253) 233 | (11) 10 | (392) 290 |
| 横芝町 | (46) 38 | (3) 3 | (62) 42 |

() 内は昨年同期

町指定金融機関 千葉銀行に決まる

町では、九月一日から公金の収納又は支払等の事務を、金融機関を通じて行なうことが出来るように、指定金融機関の制度を実施することになり、株式会社千葉銀行を指定いたしました。このため皆さんが、今後町へ税金等を納めたり、町から支払を受ける場合には、この指定金融機関を通じてその手続をすることになります。

指定金融機関では、その取扱店舗である千葉銀行横芝支店内に窓口をもつて、事務取扱いをするのと同時に、役場の収入役室にも派出所を設置して同様の取扱いをいたします。事務は今まで、収入役室の職員が取扱っていたもので、従前と変わりありません。

○収入役室の取扱いはどうなるか

また、この指定金融機関の取納事務のみを代理して、取扱うことができる取納代理金

融機関を、次のように指定いたしましたので、税金等公金を町へ納付する場合には、これらの金融機関を通じて納めることもできます。

横芝農業協同組合
株式会社千葉相互銀行
旭信用金庫
東金信用組合
株式会社千葉興業銀行
株式会社第一勧業銀行

○口座振替の方法で支払が受けられます

町からの支払を受ける場合には、いままでの窓口指払いに加えて、今後は皆さんの指定した金融機関の預金口座へ、口座振替の方法で支払を受けられることもできるようになりました。この場合には、あらかじめ収入役室への手続が必要となります。

○お問合せは収入役室へ

このように、公金の出納事務を金銭取扱上の専門家である、金融機関に委託し、経理事務の能率向上と安全制の確保をなすとともに、口座振替による収納支出等出納方法の多元化による町民の皆さんの利便をはかることを目的として、この制度を実施してゆくことになりましたので、御協力下さいますようお願いいたします。

また、手続上おわかりにくい点等ございます場合は、役場収入役室へお問合わせ下さい。

良い生活環境と 健全なる人間形成

町基本構想

市民が健康で明るい文化的な生活を営むためには、日常生活環境が備わっていないと、健全な人間形成が期待できません。このためには、生活様式の向上に伴う廃棄物の増加、また文化生活には不可欠な、上下水道の整備等について長期的視野で検討してゆく。また機械革命は、労働環境・生活環境に大きな変化をもたらし、住民の緊張と疲労を高めることに伴って、自然への欲求はますます増大することと思われ、この解消を目的とした総合運動場文化施設・公園等の設置を積極的に検討するものとする、としています。

社会福祉の方向

めまぐるしく進展する社会情勢の中で、傷病や老令等の理由で社会から取り残される者もあろう。これらの者の社会復帰を目的として、低所得者福祉、身体障害者福祉、母子福祉、児童福祉等の福祉施設の強化を図り、厚生資金制度の充実に努めるものとする。

また、保険医療行政についても、住民が健康な身体と健全な精神を保持する目的で、公衆衛生活動の強化、成人病対策等の保健対策の強化に努めるとともに、公的医療機関の整備充実に努める、としています。

幼児から

社会教育まで

教育施策の目的は「新時代に即応できる心身共に健全な人間像の形成にある」としてこのためには学校、社会教育共に施設の整備充実に努めると共に幼児教育体制の確立に努め、教員、教材等の充実に努め、教育体制の強化充実に努める、としています。

最後に町基本構想の実現方法では、本構想に示した施策を実現し、健康な町造りを達成することは極めて困難な道ではある。しかし、町が住民の幸せを願う上においては最大限の努力を惜しまないものであるが、一方住民の積極的な協力を伴わなければならない。全町民が社会共同

意識に根ざした連帯責任感の上になつての絶大な協力を期待する、としています。

以上五回にわたり町基本構想の概要を記載してまいりましたが、この基本構想の目的とするところは、全ての住民

が快適で豊かな生活を得るためのものであり、住民の期待にこたへるべき横芝町のビジョンを描き、その目的を達成するための町の基本姿勢を示したものです。



第六回の成人学校

受講生募集



好評だった前回の盆栽教室

皆さんとおなじみになりました公民館の成人学校では、第六回の受講生を次のとおり募集いたしますので、受講を希望される方は、九月二十日から二十七日までの間に中央公民館事務室へお申し込みになって下さい。

今回開設する科目は、やさしい法律、英会話、農業経営、商業経営、盆栽、ペーパー制作、着物の習字、着物の

あなたの青春を

仲間とともに

青年教室受講生募集

今や世の中は、情報化時代といわれております。急激に移り変わって行く現代社会にお



いては、その情報を正しく選択する能力を身につけなければ、この社会から取残されてしまいます。自分一人で物事を考え実行することも、現状は維持できても大きな進歩がありません。多くの仲間とともに学ぶことによつて、はじめて大いなる前進があるものと思えます。

中央公民館では、青年諸君の楽しい学習の場として、また、話しあいの場として、つぎのとおり青年教室の開設を計画いたしましたので、参加を希望される方は、九月二十六日までに中央公民館事務室へ申し込んで下さい。二度とやっつけない青春時代を友情と信頼を深めながら楽しく学ぶ青年教室に奮って参加されますようお願いします。

開設の期間は十月から来年三月までで、対象者は十八歳から二十五歳までの勤労青年男女です。

着付、詩吟、油絵、生け花、編物、商業簿記の十二講座です。各講座とも初心者を対象としての内容で、各専門の先生方が親切にご指導くださいますので、どなたも気軽に受講され、より豊かな楽しい生活をすごすために役立てていただきたいと思います。開設の期間は、十月から来年三月までで、毎月二回開講いたします。

尚、詳細については、各戸に配布される開設のお知らせをご覧ください。

尚、開催の回数、開催日、時間、内容等はアンケートにより皆さんの希望の多いもので実施いたします。また、ダンス、音楽、着物の着付、生け花、料理、茶道、読書などのクラブ活動やレクリエーション、親睦行事なども希望により行ないます。

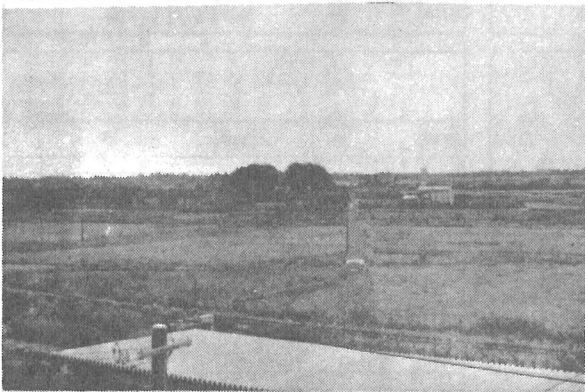
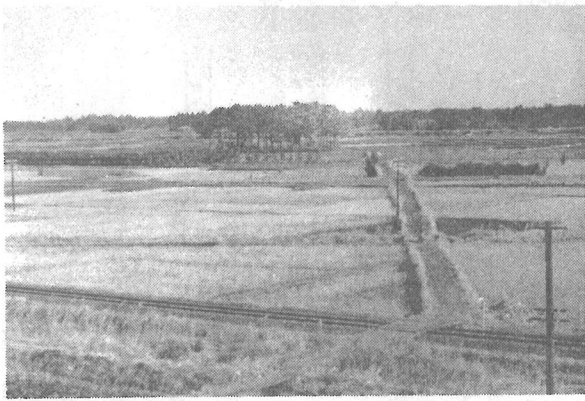
十年一昔

(その三十二)

役場下仲町踏切界限

給食センター 小沢所長寄稿

栗山方面の人達が役場へ出かけるには、隔離病舎の前から東町通学道路を横切って田圃路を役場下の踏切りへ抜ける路を利用していましたが、この踏切りは仲町踏切りと呼ばんでいました。踏切りを渡ると道路は役場の横から郵便局と映画館の間を抜けて国道を横断すると中学校前から坂田方面へも通じていました。又



◎写真 上は昭和36年撮影のもので、下は今年の8月同じ場所から撮影したものです。10年の歳月が忍ばれます。

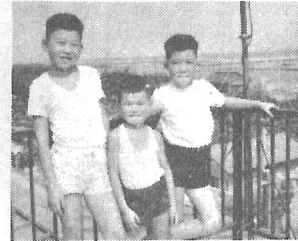
逆に栗山を経て北清水方面への近路にもなっていました。それに鉄道下へ耕田を持つ本町上町方面の農家の人達には鉄道を渡ることのできる数すくない道路でもありましたから、道路の割には重要な道路だったのです。従って役場下の仲町踏切りという大勢の人から親しまれ又利用されていました。踏切りを役

場の方へ渡ると木橋が架り、その下は線路沿に約一メートル巾の流れになっていて春先等は流れと線路の間の堤にすくしやすかんぼが可愛い芽を吹き出していました。そして反対側の役場寄りの堤は、人が通れる程の中になっていて若い杉の木が一列に植えられていました。そして根元にはれんげ等の若草が繁茂して

ら、摘草、魚採り、虫狩り、いなご狩りと四季を通じて楽しみの多い場所でした。それだけこの踏切りを知っている人には懐かしい思い出を残しているのです。ところが、その踏切りが廃止されるといふことになったのですからこれを利用していた人達は驚きもしましたし又反対もしました。当時のことについて或る人は、

「この踏切の歴史は随分古いものです。真中を流れている用水路は私達の子供の頃は泥深川と呼んでいました。上流の方は底が泥深くてぶすぶすと足がもぐってしまいう位です。その辺に遊びに行く時は、太い竹の棒を持って行けば、若し足を取られたら棒に跨がって沈むのを防げ」と親達から言われたものです。その頃鳥喰沼はまだまだ広く、この踏切りの近くまで沼田でした。その沼田がどうやら耕地になるまでの農家の苦勞は大変でした。その苦心の未作り上げた耕地を踏切りが出来た時、これに通ずる道路用地として無償で寄附する等随分協力したものです。

そうした苦勞を積重ねた想い出の踏切りですから、急に廃止といわれてもなかなか納得できなかった訳です」と凡そ、そんな風に話していましたが、そうした問題の中にも上町踏切りを拡張することを条件として仲町踏切りは遂に廃止されました。山羊が遊んでいた堤や田圃も埋立てられ



〈善意の三兄弟〉

夏の佳節
黄金のカブト虫
真夏の太陽が照りつける、

役場用地として倉庫等が建ち並び辺りの様相は一変してしまいました。今役場の二階から眺めますと点在する木立と踏切りの前後に伸びる農道に僅かの名残りを止めています。その農道も緑一色の草群にけされてしまう様に見えるのは気のせいでしょうか。

道端にひっそり建っていた碑、寺や社の庭先でふと見付けた碑、そこに刻まれた文字の一つ一つに、形に、幾年昔の私達の祖先の、故人の面影を忍び遺業を称えるのも無駄ではないと思います。二年八月月にわたり御付き合いをいただきました十年一昔は一応今月で終らせていただき来月からは、横芝町に点在する碑を探索して紹介したいと思います。よろしく御講評をおねがいいたします。

八月十五日、役場住民課の窓口へ横芝町長宛に一通の封書が届けられました。

係員が調べて見ると中に「夏休みにカブト虫を売って作ったお金です。少しホドムのおじいさん、おばあさんにあげて下さい」と書いてあり、それに現金二千円が添えてありました。この善行の主は、南川岸部落に住む、野田三郎さんのお子さんと、上堺小学校六年生の敏勝君と四年生の茂則君、それに二年生の正彦君の三人の兄弟でした。兄弟は、夏休みを利用してカブト虫をとり売ったお金を、自分達の欲しい物を買わずに、施設の老人達のために貯えておいたのです。日頃恵まれない施設の人や不幸な子供達が忘れられがちな昨今、この三人の兄弟の善行こそ、何か社会福祉のあり方についての指針を示してくれたような気がいたします。私達はこの善意に感謝すると共に、お互い助け合い明るい横芝町を造ろうではありませんか。

八日市場の市内局番
9月20日から3局 誕生



建設のあゆみ

8月～9月

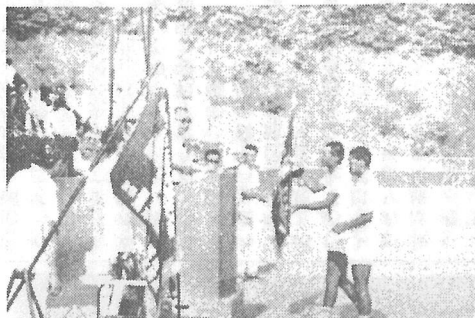
完成した事業

①敷地造成工事
老人ホーム敷地 9,397㎡

着工及び工事中の事業

①道路舗装工事
東町駅脇 200m
牛熊地先 700m
屋形入間地先 600m
北清水～鳥喰土 1,085m
鳥喰新田地先 2,667m
栗山～北清水 (敬愛高校前) 1,515m

②敷地造成工事
栗山分譲地 22,781㎡



猛練習の成果、この大優勝旗

第二回関東中学校軟式庭球大会は、八月十六日埼玉県東松山市の市営庭球場で行なわれ、県代表の横芝中学校が昨年に続き連続優勝を飾りました。大会は、一部七県からそれぞれ都県予選を勝抜いてきた、強豪三十八チームの間で展開され、横中の成田・藪崎組は決勝戦で、埼玉の強豪松山中を四対一で下し、一方女子竹田・本田組も熱戦の末神奈

関東大会で 横中テニス部 男女とも優勝

川代表保土谷中を四対二で破り男女とも栄えある大優勝旗を獲得いたしました。この好成績は、日頃の先生の指導と連日汗と埃にまみれて一生懸命練習した成果の現れであると思えます。心からお祝い申し上げます。

試合経過

男子
第一戦 双葉中 (東京)
第二戦 西中 (栃木)
第三戦 小川東中 (埼玉)
準決勝 協和中 (栃木)
決 勝 松山中 (埼玉)

女子
第一戦 西中 (埼玉)
第二戦 西方中 (栃木)
第三戦 寛成中 (神奈川)
準決勝 成田中 (千葉)
決 勝 保土ヶ谷中 (神奈川)

警察官募集

一、受験資格
年令 男女とも昭和四十八年四月一日現在で十八才以上二十八才未満の者

学歴
男子 (1) 大学卒業者及び明春卒業見込みの者
(2) 高校卒業者及び明春卒業見込みの者またはそれと同程度の学力を有する者

女子 (1) 高校卒業以上の者及び明春卒業見込みの者
二、募集人員

小さな親切実行章

上町の高橋幸子さんに



五月二十五日午後六時、退庁時の本町交差点は、車の列と家路を急ぐ人が続いています。折柄進行中のバスの前に三才位の男の子が歩き出して来たのです。バスは急停車して男の子の通過を待とうと

しましたが、周囲の車の群に気が付いた男の子は、恐怖に身をすくめて動けなくなっていました。歩道に立つている人々も、一瞬どうする考ばかりでした。その時バスに乗っていた一人の女性が立ち上り、運転手に何か告げて足速に降りると、素早く男の子を抱き上げて歩道に待避させて、運転手に軽く手を振るとバスは何事もなかったように進行して行きました。この気

男子警察官 約三三〇名
女子警察官 約 四〇名
三、受付締切
昭和四十七年九月三十日迄
四、試験日
十月八日(日曜日)

その他詳しくは、最寄の警察署、派出所、駐在所におたずね下さい。

沖繩「きよ金」

協力を感謝

「みんなの心を沖繩に」をスローガンに全国的な運動を展開いたしましたきよ金運動は、町民各位の心あたたまる御協力により、当初予定額をはるかに上廻る二十一万九千円の義援金をいただきました皆様方の善意の義援金は、本土のまごころとして、沖繩県共同募金会を通じて、新生沖繩県民の教育と社会福祉向上のためお贈りいたしましたので、御報告申し上げます。御協力に感謝申し上げます。

転の主は、上町の高橋幸子さん(二十四才)で、フタバ保育園の保育さんでした。高橋さんは、ほっとしたような人々の中に保護者らしい人を見当らないことをたしかめると、この子を家まで送り届けてあげた、というものです。小さな親切運動実施本部では、この行為を高く評価し去る七月十七日親切実行章を高橋さんに贈り、これを称えました。

横芝俳壇

横芝句会八月例会

土屋 栗水
岩松葉の握り解きて驟雨すぐ
石川 奇水
鯨叩く背戸は茗荷の花ざかり

斉藤ちくろ
逃げし鶏茗荷畑を匂わせて
玉虫たけし
夕立や置かれしままのゴム草履

若梅あやめ
夕立ちて滝音増しぬ宿の夜
藤代 ゆう
ひとひらを取ればはかなし百日紅

加藤 庄長
扇風機程よく蘭の香を配る
木下石果
読みさしの頁を折っておく昼寝

奥山 萌古
暑に倦みて物言う事の声とが
古谷 紅雲
打水を手伝う避暑の客なりき
三枝 句城
聞き流す話題は尽きず扇風機

伊藤 保人
垣越しに貰う茗荷の紙包み
林 義村
隣家へ通う小みちや花茗荷

鈴木 蘭堂
山寺に一夜の宿り茗荷汁

次回 九月九日 一時
兼題 稲刈 葉鶏頭